

平成 21 年度～25 年度 私立大学戦略的研究基盤形成事業

『セル・シグナリング標的治療薬の 研究開発拠点の形成』 最終報告会

日時 2013 年 8 月 27 日
場所 慶應義塾大学芝共立キャンパス
マルティメディア講堂

プログラム

13:30-13:40 研究計画の紹介 金澤 秀子（研究代表者）

13:40-14:25 研究成果発表 グループ 1

座長 須貝

病態に基づいた治療薬デザインと合成

1. アポトーシス制御物質の開発と分子機構解析

（医薬品化学講座 増野 匡彦、大江 知之）

2. 分子標的薬合成のための微生物酵素触媒の開発

（有機薬化学講座 庄司 満、須貝 威）

3. 細胞内情報伝達因子を調節する糖鎖の合成

（天然医薬資源学講座 木内 文之、羽田 紀康）

14:25-15:40 研究成果発表 グループ 2

座長 三澤

がん、免疫、認知症、糖尿病に対する標的分子の探索とその相互作用の解析

1. 発がんウイルス分子による細胞内情報伝達機構の解明と分子標的治療薬の開発

（化学療法学講座 野口 耕司、杉本 芳一）

2. 難治性悪性腫瘍に対する分子標的療法の確立

（病態生理学講座 服部 豊、松下 麻衣子）

3. 神経ステロイド生合成系酵素を標的とする中枢作用薬の創製

（衛生化学講座 田村 悦臣）

4. サイトカインシグナル異常とアポトーシス異常をもたらす細胞内シグナル分子の解析と薬物との相互作用の解析

(生化学講座 多胡 めぐみ、笠原 忠)

5. 内在性神経毒類似タンパク質を標的とした新たな抗認知症薬の開発

(薬理学講座 三澤 日出巳、奥田 隆志、森脇 康博)

【休憩 10 分】

15:50-16:35 研究成果発表 グループ3

座長 中島

分子標的治療薬の臨床応用のために不可欠な薬物デリバリー機構解明と
デリバリーシステム構築

1. 水晶体内情報伝達機構の解明

(分子機能生理学講座 岡 美佳子、竹鼻 眞)

2. 血管内皮前駆細胞分化制御による血管新生阻害薬の開発と新規開発薬物の組織移行制御

(薬剤学講座 中島 恵美、登美 斉俊、西村 友宏)

3. Hepatitis B virus (HBV) 表面蛋白を用いた肝細胞ターゲティング遺伝子導入に関する検討

(薬物治療学講座 齋藤 義正、齋藤 英胤)

4. 細胞内情報伝達分子を標的としたドラッグデリバリー及び可視化蛍光プローブの開発

(創薬物理化学講座 金澤 秀子)

【休憩 10 分】

17:00-18:00

座長 笠原 忠 (慶應義塾大学)

特別講演「細胞増殖因子 FGF ファミリーの機能・分子機構の解析と応用」

(産業技術総合研究所 バイオメディカル研究部門 シグナル分子研究グループ
今村 亨先生)